

静岡・ケイセイ遺跡

- 1 所在地 静岡市駿河区中田・馬測
- 2 調査期間 第七次調査 二〇〇六年(平18) 十一月～二〇〇七年三月
- 3 発掘機関 静岡市文化スポーツ部文化財課
- 4 調査担当者 天石夏実・鷲坂有吾
- 5 遺跡の種類 集落跡・官衙跡・水田跡
- 6 遺跡の年代 古墳時代後期～中世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要
ケイセイ遺跡は、古墳時代後期から中世にかけての複合遺跡で、



(静岡)

賤機山丘陵の先端部から南東に広がる安倍川扇状地上、標高一〇m前後に立地する遺跡の名称は、遺跡が最初に発見された中田の小巷「古傾城」に由来する。
今回の調査は、集合住宅建設に伴うものである。古墳時代後期の竪穴住居・掘

立柱建物・自然流路、奈良・平安時代の掘立柱建物などの遺構を検出し、古墳時代後期の自然流路が低湿地化した部分で多量の遺物(土器類・木製祭祀具など)が出土した。

文字関連資料として、木簡のほか、墨書土器・硯(宝珠硯・円面硯・転用硯)が出土している。墨書土器には「有厨」「宇厨」「国厨」「安厨」「益厨」などの文字があり、「有厨」や「宇厨」は有度郡衙の厨を示すものと考えられる。調査地が古代駿河国有度郡内に比定できることから、周辺に有度郡衙の施設があったことを裏付ける有力な証拠と考えられる。

木簡は、平安時代前期の掘立柱建物の柱穴掘形から一点、低湿地部分から一七点、計一八点が出土した。

8 木簡の釈文・内容

掘立柱建物

- (1) 「石部田麻呂 石部 礼雅礼□ (268)×23×13 019

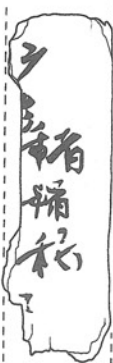
低湿地

- (2) 「木マ。七両」 147×33×10 061

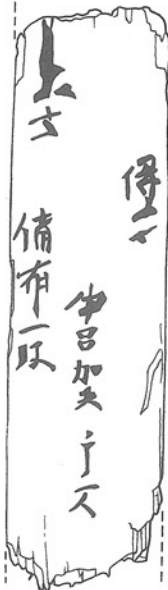
(3)	「 白マ郷上糴合五斗	戸主丈マ子秦五升 戸主他田臣久須□ 戸主丈マ大市五升 戸主神前臣□呂五升□□□ [戸主カ]	」	416×29×4 011*
(4)	麻呂易□	(85)×42×5 081	(10) 〃□□	(42)×(32)×4 081
(5)	□□□□	129×32×3 019	〃□□	(61)×(20)×3 081
(6)	・ □一斗当百代又遣十七束 □丈校見定田百六十三束八把	(11) 〃 六月廿二□	〃 □□□□	(61)×(20)×3 081
	・ □価得□□	(12) 〃 □司□□□ [等得カ]	〃 □□□□	(111)×(17)×3 081
	□出直 価布一段	(171)×47×4 081*	〃 □□□□	133×24×5 032*
(7)	・ 稻稻稻	(13) 「 〃煎八升二合」	〃 □□	(139)×8×7 081
	[稻カ] □□	(103)×(33)×9 081	(14) 〃 □□	(83)×(28)×7 081
(8)	×郷戸主神前臣□足戸	(110)×(12)×4 081	(15) 〃 □□	(65)×41×4 019
	□□□□□	(33)×(14)×4 039	(16) 〃 □□	98×48×3 011
(9)	〃 □□	(33)×(14)×4 039	(17) 〃 □□	



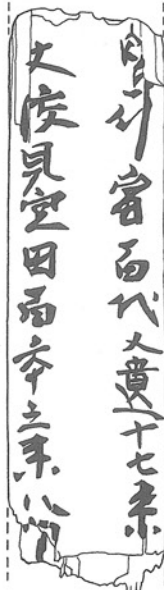
(7)



(12)



(6)



(1)



(10)



(15)



(17)



(8)



(5)



(13)



(14)



(2)



(4)



(11)



(9)

(18) 「く大伴里五戸大伴マ依麻呂米五斗」 170×24×4 032

(1)は上端及び左右両辺は削り、下端は折損している。習書木簡と考えられる。

(2)は糸巻具で、四周が削られている。(3)は四周が削り、中間部右半が一部欠損している。「白マ(部)郷」は、『和名抄』の駿河国有度郡真壁郷か。宝亀元年(七七〇)光仁天皇の即位に伴い、白部(白壁)は真壁に改称されたと考えられるため、「白マ(部)郷」の表記は、それ以前のものである可能性が高い。

(5)は四周が削り、左下は欠損している。下端は二次的削りの可能性がある。(6)は上下両端が折損し、左右両辺は削り。裏面二行四文字目は「伊」の可能性はある。(15)は墨痕が認められるが、文字か絵か不詳である。

(17)は四周が削られ、右辺中程が切断されている。墨痕があるが文字か否か不詳である。

(18)は付札で、四周が削り、右下は欠損する。国郡里制もしくは郷里制下の木簡で、天平十二年(七四〇)以前のものであると考えられる。

『和名抄』駿河国には大伴郷は存在しない。

木簡の釈読にあたっては、奈良文化財研究所史料研究室の方々のご教示を得た。

(天石夏実)

『青森県史』資料編古代2 出土文字資料』の刊行

本書は、文献史料を集成した『県史』資料編古代1と『県史叢書』古代1補遺の二冊に次ぐ古代北方史に関する三冊めの資料集である。青森県をはじめ現在の北海道・東北地方・新潟県で出土した三万点を超える文字資料を収録する空前絶後の規模を誇る。

第I部青森県出土文字資料、第II部墨書・刻書土器、文字瓦は遺跡ごとの資料表を主体とし、道県ごとの解説と主要な資料の図版からなる。第III部は木簡と漆紙文書で、遺跡ごとに資料を排列し、それぞれに形状・内容等を注記する。第IV部は金石文で、年紀にしたがって資料を排列し、多くの写真を掲載する。お問い合わせはこちらまで

青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ

電話 〇一七―七三四―九二三九

お求めはこちらまで

青森県図書教育用品株式会社

電話 〇一七―二二七―八八一

A4判 八一六頁 頒価五九八五円(税込、送料四二〇円)